

●議案第18号

○平成21年度病院事業会計補正予算(第3号)について

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

医療機器(大腸内視鏡)購入費を10万円増額するもの。

主な質疑

○見積もりを取って契約して購入したものはずなのに、どうしてこのような差が出たのか。

○正確に積算したつもりだったが不足が出てしまった。

●請願第1号

○350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

平成21年11月、国内最大の感染病被害であるB型C型肝炎について、その発病に責任が国にあると明記した肝炎対策基本法が成立した。しかしそれを支える個別法が策定されず、予算措置もなされていないので患者の救済はなかなか進まない。必要な個別法を制定し予算措置を行うことをはじめ、

患者救済に必要な手だけを広く講ずることを求める請願である。

主な質疑

○県や市町村で患者の数がつかめない等、その実態がなかなか公表されないのはなぜか。

○潜伏期間が長いため本人が気付かないことや、検査をして初めて発見されることが多いこと。プライバシーに関わることなので本人が隠していること等の要因が重なっているためである。患者は350万人と

言われているが、500万人にもなるだろうという見方もある。

●請願第5号

○路上喫煙禁止に関する請願

願

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

前議会では内容に不備があるとして採択されなかったが、請願者が訂正の上再提出したものである。受動喫煙防止のために人ごみでの喫煙の禁止や分煙を進めるための条例制定を町に求める請願である。

主な質疑

○提出者には、条例の内容容について町と協議をする用意はあるのか。

○あると思う。

議事中以外に行われた委員会報告

平成22年2月23日

1 湯沢町国民健康保険会

計の現状と見通しについて

21年度は当初で歳入の不足が見込まれたので税率をアップし、さらに不足分を一般会計から5,690万円の繰入れをして補った。現段階ではその財政状況に変わりは無く、22年度会計においても相当額の歳入不足が出そうである。

したがって22年度も一般会計から3,000万円ほどの繰入れを行うとともに、課税額の一定の引き上げを行わざるを得ない状況である。

20年度に国保税を大きく下げた影響が残っており、それを元に戻す過程にあると言える。

2 湯沢町の新型インフルエンザの状況について

昨年11月に中学校において集団発生が始まり、その後

小学校、保育所に広がった。11〜12月がピークであった。新型であるので今後も監視が必要である。

○発症者の8割が10代以下であることを踏まえ、1歳から中学生以下の児童生徒については、学校・保育所等の協力のもと接種意向調査を実施し、12月と1月に集団接種を実施した。接種費用の助成も行った。

○現在の接種済者は約1,000名である。今後は健康成人に対しても接種費用助成を行い、接種奨励の広報をしたい。

○季節性のインフルエンザの発生は現在ほとんどない。

3 その他

湯沢病院の平成21年11月期決算概要について

○社団法人地域医療振興協会が公益法人の認定を受けて、公益社団法人地域医療振興協会と名称を改めた。

○それに伴って湯沢町保健医療センターも11月で決算をまとめたものでその概要を報告する。

○11月期の決算ではマイナス1,696万3千円という厳しい結果だが、それは冬季節間の収入増を反映していない数字である。

産業建設常任委員会報告

委員長 田村 計久

開会中の委員会審査

平成22年3月12日

●議案第12号

○湯沢町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

今回の条例一部改正は小

坂簡易水道、芝原簡易水道、堀切簡易水道、の3簡易水道を統合し「湯沢第一簡易水道」とするため、施設改修にともない「簡易水道等施設整備費国庫補助」をうけるためのものである。

平成22年度から、この国庫補助事業による遠方監視等の施設整備を実施し、安定供給をはかるもの。